

## 伏原町自主防災会活動報告

令和3年（2021年）3月22日

会長 松本正昭

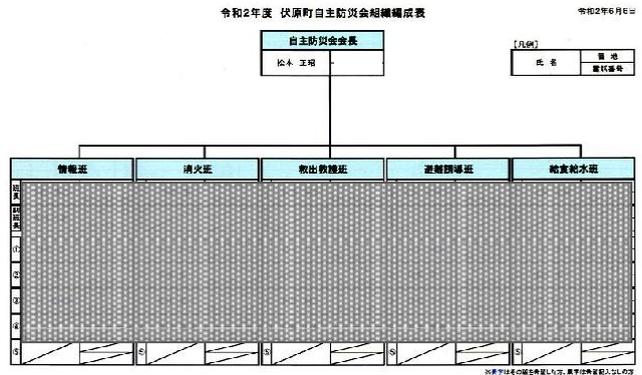
<b>実施日時</b>	①情報伝達訓練 令和2年7月13日 9時～ ②資機材取扱訓練 令和2年9月27日 9時～ ③防災マップを見る会 令和2年10月10日 10時30分～ ④炊き出し訓練 令和2年11月22日 9時～
<b>実施場所</b>	①情報伝達訓練 電話、メールにて実施 ②資機材取扱訓練 高木北小学校防災倉庫前 ③防災マップを見る会 高木センター3階 ④炊出し訓練 伏原公園
<b>参加人数</b>	延べ102名（27、22、25、28）
<b>活動内容</b>	①情報伝達訓練 … 電話とメールにて連絡網を確認 ②資機材取扱訓練 … 防災倉庫見学、資機材取扱訓練 ③防災マップを見る会 … 洪水ハザードマップをプロジェクター投影 ④炊き出し訓練 … 豚汁を炊き出し ※各活動内容の詳細は次ページ以降参照
<b>活動目的</b>	自主防災会員の防災意識の啓発と向上を目指すため
<b>広報方法</b>	①回覧、②掲示板への案内、③役員会議で案内、④自治会報に記載
<b>感想</b>	次ページ以降参照
<b>その他</b>	・西宮市から防災グッズ及び乾パンの提供を受けた ・新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施した

補足資料

1. ⑤情報伝達訓練：

内容：R2/7/13 10時から役員会議を予定していた。当日、西宮市に大雨・暴風警報が発令されており、会議開催1時間前の9時点でも解除されなかったため、会議中止を決定した。

その伝達を電話とメールで並行して実施した。電話連絡のルートは、右記の自主防災会組織編成表にて行った。



結果：・電話による伝達は約20分で全員(一名を除く)に伝えることができた(一名は、電話番号記載誤り分り訂正した)。  
・メールによる伝達は、各人のメールへのアクセス状況により了解の返信が8分～翌日までまちまちであった。

反省・感想等、その他：

・これまで自主防災会組織編成表は作成はするものを実際に使われることはなかったが、今回初めて活用できて意義があった。また、電話番号の記載誤りがわかり、(レベルは低いものの)それなりに意味があった。

2. 自主防災活動(②施設見学、⑧資機材取扱訓練 ⑫その他(ハザードマップを見る会 ⑨炊き出し訓練)：

本年度活動は新型コロナ対策で活動に制限があるなか3密を避け小規模で回数を分けて実施を予定(新型コロナ対策を優先し状況によっては中止も躊躇なく判断)することとした。

内容：幅広く、「見て・勉強して・体験訓練して」を組み込み下表の計画をした。

活動名称	1. 防災倉庫見学・体験	2. 防災マップを見る会	3. 炊き出し訓練
目的	防災意識の啓発	防災意識の啓発	防災訓練
日時	2020/9/27(日)	2020/10/10(土)	2020/11/29(日)
場所	高木北小防災倉庫前	高木センター集会室	伏原公園
参加予定人数	30名	30名	30名
その他			

注)3.炊き出し訓練は、秋以降コロナ感染者数の増加が増大し始めたため、日程を一週間繰り上げ11月22日に実施した。

結果：

(1) 防災倉庫見学・体験(②施設見学 ⑧資機材取扱訓練)

- ①自治会防災倉庫および高木北小学校 防災倉庫に保管している機材を紹介説明(右写真)。
- ②毎月、月に一度、自主防災会で機材の員数点検並びに発電機およびポンプの起動試験をしていることを紹介説明。



- ③発電機およびポンプの起動手順説明と実演し、その後、希望の人に起動体験してもらった。



☆保管時は燃料ガスの漏れ防止の為、燃料缶を外しています。まずセットしましょう。



☆女子高生が挑戦してくれました。お見事、起動しました！

## (2) 防災マップを見る会 (⑫その他)

- ①防災ハザードマップをプロジェクターで投影し、伏原町を拡大して洪水(最新基準：降水量 511mm/24hr)時の浸水状況を見てもらいました。伏原町内の畑・田など耕作地が浸水します。
- ②ネット等で情報収集する方法や「避難の準備・勧告・指示」の意味と取るべき行動について確認するとともに近隣で開設される避難場所を紹介しました。
- ③「避難」とは、必ずしも開設された避難場所へ行くことではなく、「難を避けること」であることを伝えました。
- ④また、ネット接続で NHK みんなの防災から「コロナ禍の大雨避難」を聞いてもらいました。
- ⑤質疑応答 および 意見交換は、(西宮市の中でもほかの地区と比較すると安全な場所であるためか)低調でした。  
最後に「これをきっかけに我が家の防災の見直しをお願いします！」で終了。

## (3) 炊き出し訓練 (⑨炊き出し訓練)

- ①参加者全員の手指の消毒、マスク着用を確認する。
- ②会議用机、バーナー、大鍋・お玉、豚汁缶・缶切り、給仕者用ポリ手袋テーブル紙コップ・割りばしを準備して豚汁を温め給仕する。同時に市・地域防災支援課から支給してもらった乾パンを一人ワンパックずつ配布した。
- ③受け取る前の行列では各自間隔を取るよう、また、受け取った後は対面を避け距離を取って食べてもらうよう場所を指示する役の人を配置した。
- ④ゴミの回収、ならびに使用機材の片づけ後仕舞いをした。
- ⑤後日(2週間後くらいまで)体調不良の報告のないことを確認した。

反省・感想等、その他：

### 防災炊き出し訓練を実施しました！

11月22日(日)、公園掃除の後、防災訓練として非常食の「豚汁」を温めて、28人で試食しました。また「非常食のパン」も配りました。豚汁は缶に入っていて、温めるだけのものですが、豚、人参、大根、じゃがいも、コンニャクなどの具が大きかったぶり入っていて、試食された皆さんからは「思ったより本格的で美味しい」と好評。参加してくれたお子様からは、「楽しかった」との声を頂きました。(右写真)

(自治会会報 12月号より抜粋)

